

森の民
2 ベトナム
カトウ族の村から

公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)が支援しているカトウ族は、ベトナムに54いる民族の一つです。54の民族の中で一番多いのはキン族で、人口の約86%を占めています。山間部に住む少数民族の人々は発展の恩恵を受けられないなど、社会の中で弱い立場に立たされることも少なくありません。

ベトナムの民族

人口の約86%を占めるキン族が一般的にいう「ベトナム人」で、彼らの文化、社会、習慣などが代表的なものとして残っています。キン族を除いた人口の約14%を、53の少数民族が占めています。キン族の多くがベトナムの平地に住んでいるのに対し、少数民族は、中国、



ベトナム北部のハナモン族

ラオス、カンボジアなどと接する国境付近の山間部に住んでいます。少数民族が社会の中の少数派として、弱い立場に立たされることは少なくありません。例えば、少



キン族の衣装アオザイ (高校の制服)

数民族の人々が多く住む山間部には、都市と比べて学校が不足し、生活に必要な物資や政府のサービスが十分に行き届かない状況がみられます。実際、ベトナムの貧困層の多くは、山間部に住む少数民族の人々です。

ベトナム中部のクアンナム省を中心にラオスの国境をまたいで暮らしているカトウ族は、少数民族の中でも小規模なグループです。総人口は約6万人、うち約4万5000人がベトナム側に居住しています。

平等の意識強い

FIDR
FOUNDATION FOR INTERNATIONAL DEVELOPMENT RELIEF
公益財団法人国際開発救援財団 (FIDR)
国際援助を行う民間の非政府組織(NGO)。1990年に設立され、東京に本部を置いています。
ベトナム、カンボジア、ネパールで現地の行政機関や団体と協力して、貧困状態にある人々の生活を向上するために支援しています。日本では、岩手県山田町と大槌町を中心に東日本大震災の被災地の復興支援に取り組んでいます。98年にベトナム中部のダナン市に事務所を設立。

カトウ族は、古くから山の中に住み、狩猟や採取による自給自足的な生活を送ってきました。森にある様々な植物の利用法や、動物の狩猟などに非常に長けた、「森の民」といわれています。またカトウ族は、平等と分かち合いの意識が強く、仲間の中で貧富の差をつくらないよう、皆で助け合いながら暮らしています。(沖山尚美)

ベトナム豆知識

ベトナムでは、20年前までは戦争が続いていました。1946年から54年まではフランスと独立戦争(第1次インドシナ戦争)をしていました。その後、ベトナムは南北に分断されますが、南にできたベトナム共和国の後ろ盾になったアメリカの軍事介入により、62年から75年まで北部と南部で戦争(第2次インドシナ戦争)いわゆる「ベトナム戦争」が起きました。これによって南北が統一されましたが、今度は隣の国カンボジアへの侵攻(第3次インドシナ戦争)をはじめ、89年まで戦争は続きました。86年に、「社会主義」の考案方に「資本主義」の要素を混ぜ合わせた「ドイモイ(刷新)政策」という経済立て直しの方針が始まりました。これ以降、ベトナムの経済は発展を続け、経済成長率はここ数年で年間10%という高い割合に達する年もあり、2020年には「近代工業国」家入りを目指しています。主要産業は農林水産業、鉱業、軽工業。2012年度までにコヒー、米の輸出が世界一となりました。しかし、貧富の差が都市と農村地で拡大しているという問題も起きています。(狩野ますみ)

歴史
「ベトナム社会主義共和国」と名前にもあるように「社会主義」の国です。
地図: ハノイ、ベトナム、ダナン、カンボジア、ホーチミン、中国、タイ、ラオス

世界史の現場で 94 今なお謎多き巨大四角錐

【紀元前26世紀ピラミッド完成】
エジプト
カイロ
スーダン
国名: エジプト・アラブ共和国
首都: カイロ
面積: 100万1450平方キロメートル
人口: 8253万7000人(2011年推定)
現地通貨: 1エジプト・ポンド=約13.5円

エジプトの首都カイロ近くのギザという場所に、約4500年前に築かれた世界最大のピラミッドが残っています。現存する唯一の「古代世界七不思議」に数えられる遺跡のおひざ元で12月7日、カイロ日本人学校のマラソン大会が行われました。今年で27回目。小中学生32人の全校児童生徒が古代エジプトの風を切ってさわやかな汗を流しました。
世界一高いピラミッドは紀元前26世紀のクフ王が築いたものです。当時、四角錐の底面は各辺約230メートルで、高さは150メートル近くに達しました。近くにはほぼ同じ時代のカフラー王、メンカウラー王が築いた二つのピラミッドもあり、クフ王の分も含めて「ギザの三大ピラミッド」と呼ばれています。
ピラミッドは長い間、「奴隷によってつくられたファラオ(王)の墓」と考えられてきましたが、最近では「自由な労働者の手でつくられた神殿」との見方が有力です。謎に包まれた巨大なピラミッドのどこかに今もなお宝物が隠されているのかもしれない、なんて想像するだけでわくわくしますね。
カイロ日本人学校もピラミッド近くのギザにあります。カ

ピラミッドを前に元氣よくマラソンをスタートする子どもたち。4500年を超えた走りです！樋口撮影
イロの中心部から学校まで通学バスで約1時間です。1～4キロまで4コース別のマラソン大会の完走者には、パピルスと呼ばれる草の茎からつくられる「古代の紙」を使った賞状が贈られます。
ギザの最高気温は冬でも20度を超えます。「途中の坂道が苦しかった。でも、ピラミッドの周りを走るのはとっても気持ちよかったです」。子どもたちの中で1キロコーストップだった小学2年の林茉莉ちゃん(8)は息を弾ませながら、満足そうにピラミッドを仰ぎ見ていました。【カイロ・樋口直樹】